

# ふなばしタウンレポート

このレポートは、幅広く市民の皆さまの声をお聞きし、市政に反映するために、平成28年8月に実施した「船橋市市民意識調査」の主な結果をとりまとめたものです。

船橋市では、魅力あるまちづくりをめざし、市民の皆さまといっしょに今後の施策を展開してまいりたいと考えております。

## <「船橋市市民意識調査」の概要>

- (1) 調査対象 船橋市在住の満18歳以上の男女3,000人
- (2) 標本抽出 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送法（郵送配布－郵送回収法）
- (4) 調査期間 平成28年8月5日（金）～8月24日（水）
- (5) 有効回収数 1,255人（41.8%）

◆集計は、小数点第2位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合がある。

◆（n）は、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数である。

◆回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基数として算出している。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

◆本文や図表中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

## 回答者のプロフィール

### (1) 性別

	基数	構成比 (%)
1. 男性	522	41.6
2. 女性	720	57.4
(無回答)	13	1.0
合計	1,255	100.0

### (2) 年齢

	基数	構成比 (%)
1. 18～29歳	118	9.4
2. 30～39歳	219	17.5
3. 40～49歳	322	25.7
4. 50～59歳	245	19.5
5. 60歳以上	338	26.9
(無回答)	13	1.0
合計	1,255	100.0

### (3) 居住地区

	基数	構成比 (%)
1. 南部地区	215	17.1
2. 西部地区	292	23.3
3. 中部地区	151	12.0
4. 東部地区	326	26.0
5. 北部地区	199	15.9
(無回答)	72	5.7
合計	1,255	100.0

## 船橋市 市長公室 市民の声を聞く課

〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎ 047 (436) 2784

ホームページ <http://www.city.funabashi.chiba.jp/>

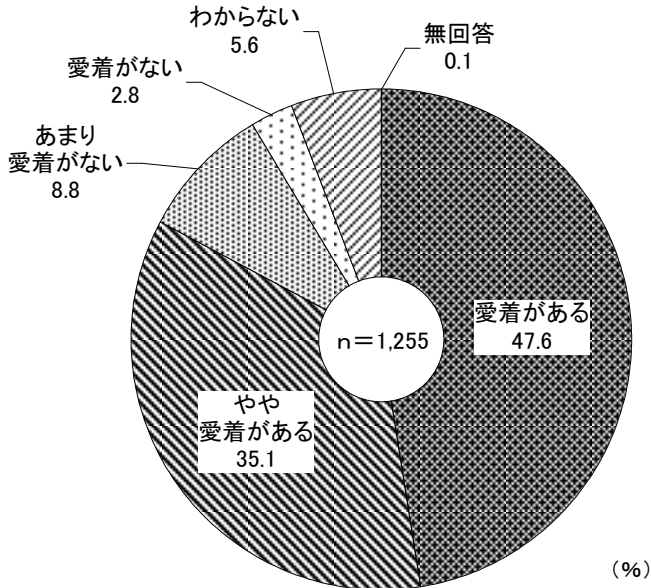
メールアドレス [shiminokoe@city.funabashi.lg.jp](mailto:shiminokoe@city.funabashi.lg.jp)

平成29年1月

# 1 住みごちについて

## (1) 船橋市への愛着

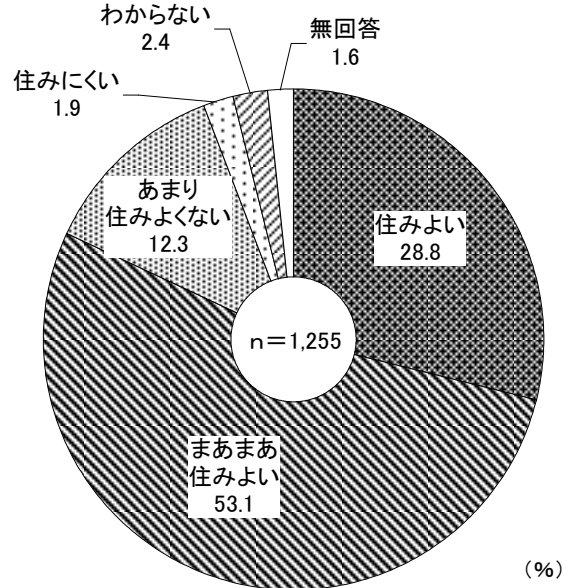
◇「愛着がある」と「やや愛着がある」を合わせた割合は8割を超え、この15年で22%増加※<sup>1</sup>している



※<sup>1</sup> 平成13年度調査の結果（「愛着がある」22.5%、「やや愛着がある」38.2%）より算出

## (2) 船橋市の住みごち

◇「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた割合は8割を超え、この15年で14%増加※<sup>2</sup>している

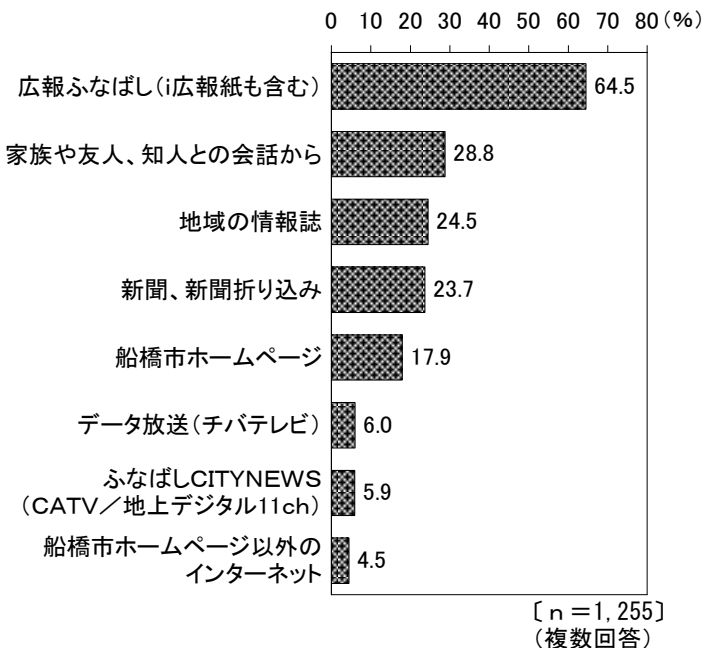


※<sup>2</sup> 平成13年度調査の結果（「住みよい」15.2%、「まあまあ住みよい」52.5%）より算出

# 2 広報活動について

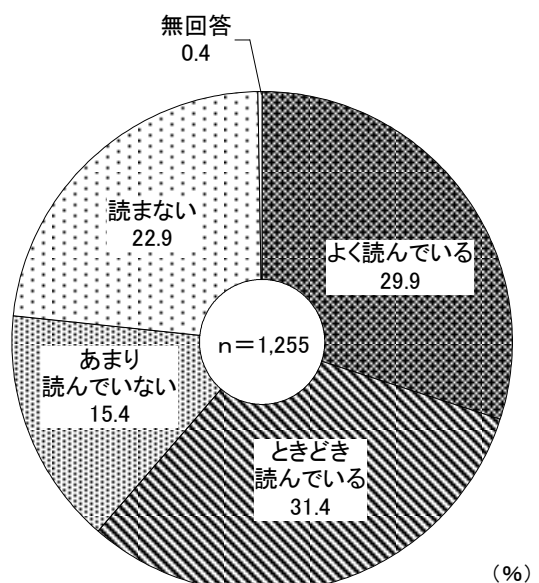
## (1) 市の事業やイベント等情報の入手方法 (上位8項目)

◇「広報ふなばし (i 広報紙も含む)」が6割半ば



## (2) 「広報ふなばし」の閲読状況

◇「よく読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせた割合は6割を超える

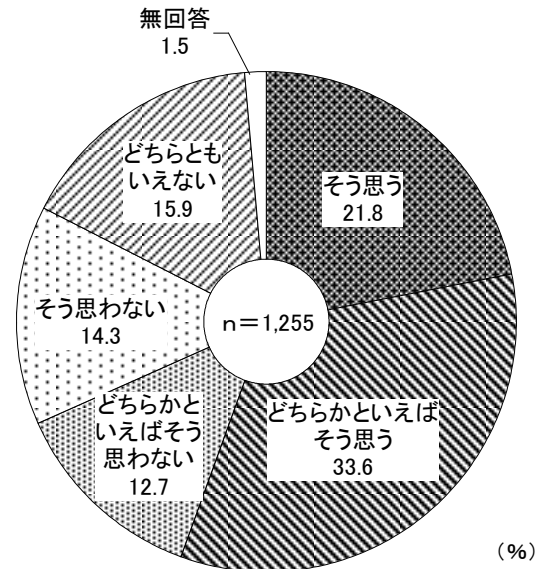


### 3 「船橋の日」について

#### (1) 「船橋の日」を制定することについて

◇「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合は5割半ば

現在、市で実施している「こども未来会議室」※1において、船橋をより魅力あるまちにするための方策の一つとして、「船橋の日」の制定についての提案※2がありました。これを受け、市では制定に向けて検討を始めたいと考えておりますが、何より市民の皆さんの機運の高まりがあってはじめて可能なことと思えます。そこで、この「船橋の日」の制定についてご意見を伺いました。



(%)

※1 「こども未来会議室」

市の現状を子どもたちに伝え、まちづくりについて考えてもらうとともに、市長と意見交換を行い、子どもたちからの提案を市政に反映することを目的に平成26年度より開始された事業。市内の28中学校の2年生を対象に実施。

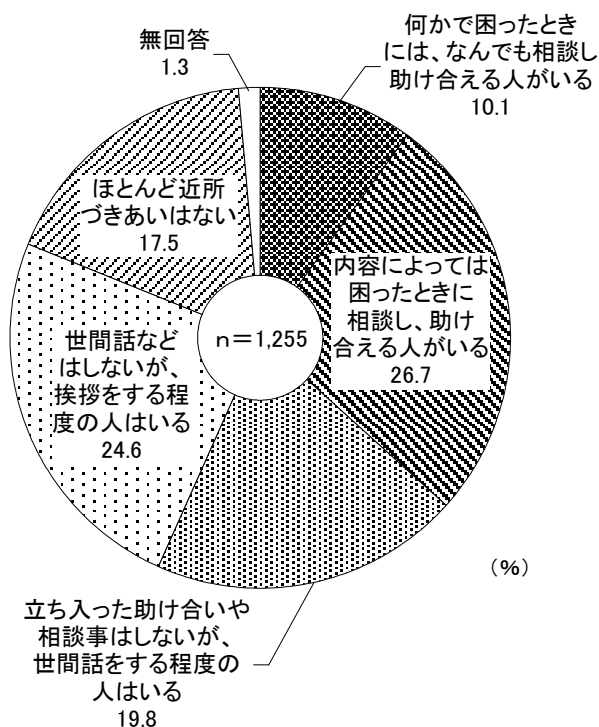
※2 「船橋の日」の制定についての提案

船橋の魅力を全国に発信するなど、本市の更なる発展につなげていくために、「船橋の日」を制定したいという提案。例えば、「その日は特産物を利用した給食で統一し、市内にも船橋の魅力を発信していく。」など。

### 4 地域との関わり合いについて

#### (1) 隣近所とのつきあい

◇「何かで困ったときには、なんでも相談し助け合える人がいる」と「内容によっては困ったときに相談し、助け合える人がいる」を合わせた割合は4割近く

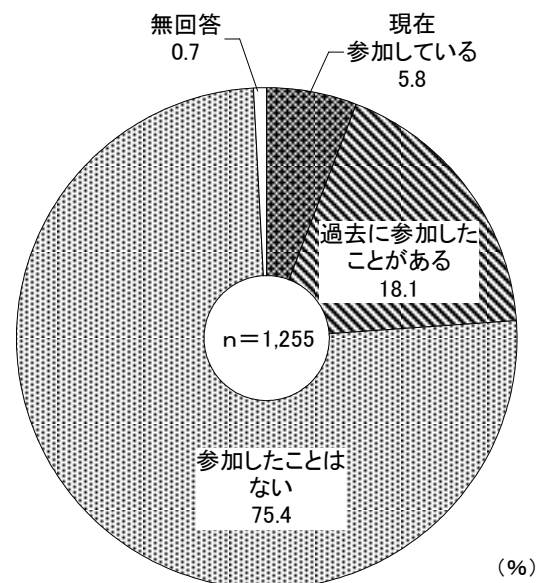


(%)

### 5 ボランティア・市民活動について

#### (1) ボランティアや市民活動への参加状況

◇「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた割合は2割を超える

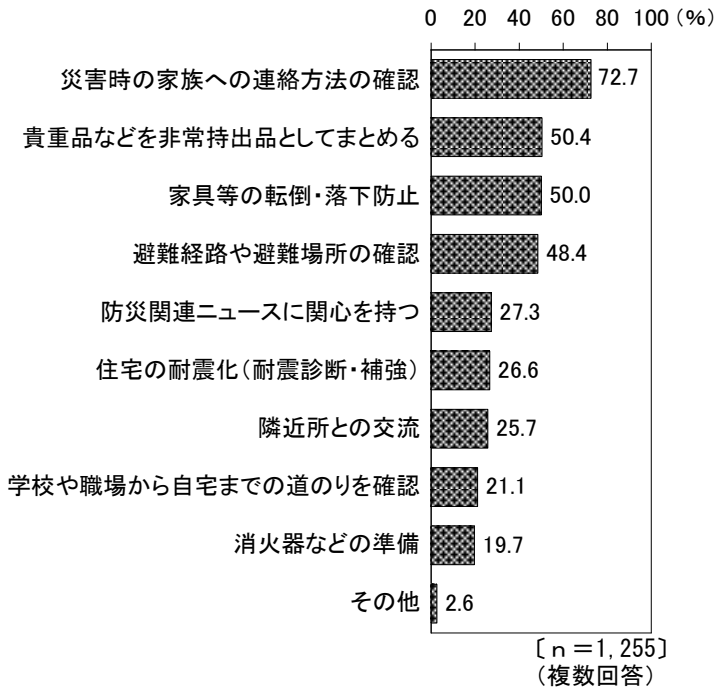


(%)

## 6 防災対策について

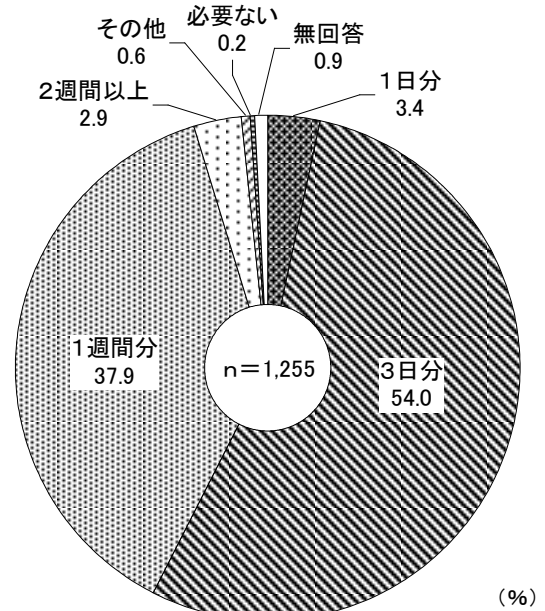
### (1) 日頃備える必要がある災害対策

◇「災害時の家族への連絡方法の確認」が7割を超える



### (2) 必要だと思う非常食の備蓄量

◇「3日分」が5割半ば

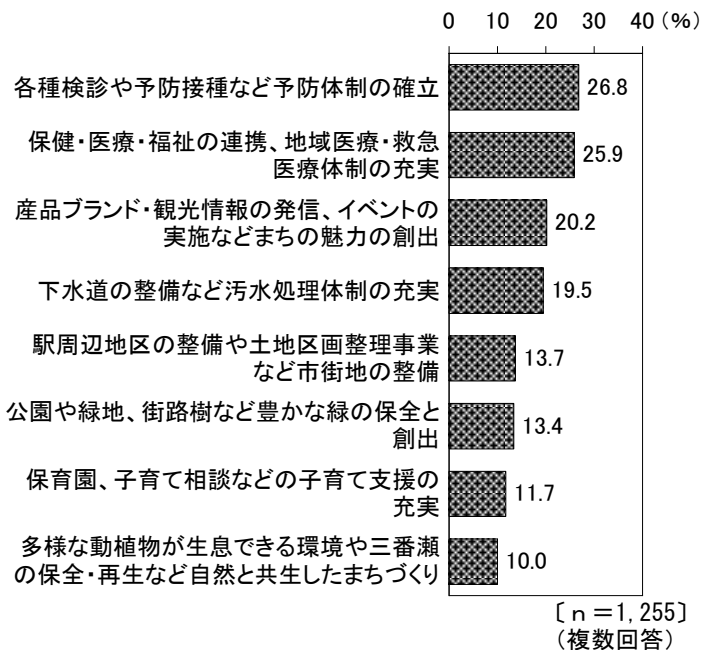


## 7 市の施策について

### (1) ここ数年でよくなったもの

(上位8項目)

◇「各種検診や予防接種など予防体制の確立」が3割近くで最も高い



### (2) 力を入れるべきもの

(上位8項目)

◇「交通渋滞の緩和や歩行者・自転車利用者の安全に配慮した幹線道路、生活道路の整備」が4割を超えて最も高い

